

次世代を担う子どもたちに 学び場を提供

(ジュニアキャンパス・子ども理科実験)

活動の概要

小学生に“学ぶこと、体を動かすことの楽しさ、面白さ”を実感してもらい学習意欲をより一層喚起するため、本学の教員や学生サークル等が講師を担当し、文化系からスポーツ系まで小学生が興味を持てる幅広い講座を提供する龍谷ジュニアキャンパスを開講しています。

また、小学生に「理科実験のおもしろさ」や「ものづくりの楽しさ」を知ってもらうため、本学理工学部教員が講師となり大津市などと連携して「夏休み子ども理科実験・工作教室」を開催しています。

その他にも地域に大学の知的資源を還元することを目的として、本学吹奏楽部の部員と協力し、大津市が主催する「生涯学習フェスタ」や滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで実施された「ラ・フォル・ジュルネびわ湖」にも参加し、子どもたちの知的好奇心や感性を刺激する様々な取組を行っています。

活動の内容

龍谷エクステンションセンターでは、次世代を担う子どもたちに学び場を提供できるように、様々な取り組みを行っています。

龍谷ジュニアキャンパス

2010年度に開設した「龍谷ジュニアキャンパス」は、「吹奏楽体験スクール」、「里山の昆虫を観察しよう」、「陸上教室」など、文化・芸術・スポーツと幅広い分野の教室を年間約30講座開講し、年間延べ約830名の小学生や保護者に参加していただいています。



ジュニアキャンパス「里山の昆虫を観察しよう」の様子。

夏休み子ども理科実験・工作教室

龍谷大学REC及び理工学部が主催し、大津市商工会議所の共催、大津市の後援を受けて、毎年8月上旬に「夏休み子ども理科実験・工作教室」を開催しています。

2017年度は年齢に応じた12種類の講座を開講し、低学年向けには身近な題材をテーマに、中・高学年向けには本格的な電子部品を使用した実験を行いました。また、共通コーナーとして「スライムを作ろう」や「折り紙と立体パズルで遊ぼう!」など自由に参加できる教室を開講し、300名を超える小学生に参加していただいています。



「夏休み子ども理科実験・工作教室」の様子

活動団体情報

代表者

深尾 昌峰（龍谷エクステンションセンター長、政策学部 准教授） 専門分野：非営利組織論

連絡先

REC事務部（京都）075-645-2098

REC事務部（滋賀）077-543-7848

主な連携メンバー

京都市、大津市、大津商工会議所、地域住民等

活動開始時期

2003年

※龍谷ジュニアキャンパスは2010年

主な活動地域

滋賀県、京都府内

生涯学習フェスタ

大津市主催の「第16回大津市生涯学習フェスティバル2017」に参加し、本学理工学研究科の学生が子ども達に「科学の楽しさ」を知ってもらうため、手作りの科学実験コーナーを設置しました。当日はたくさんの方にお越しいただき、科学の楽しさを身近に感じていただきました。



生涯学習フェスティバル（大津市）にも毎年参加しています。

ラ・フォル・ジュルネびわ湖

2017年4月28日（金）から30日（日）にかけて、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを主会場に「ラ・フォル・ジュルネびわ湖2017」が開催されました。

ラ・フォル・ジュルネとは、1995年、フランス北西部の港町ナントで誕生したクラシック音楽祭で、昼夜をかけて各地でコンサートが開催され、音楽の楽しさを多くの人々に提供するイベントです。国内では、滋賀県他、東京都や新潟県でも開催されています。

本学からは4月30日（日）に、吹奏楽部がピアザ淡海で楽器体験とミニコンサートを実施しました。楽器体験とミニコンサート合わせて、1,200名を超える来場者があり、大盛況のうちに終了しました。



クラシック音楽の祭典「ラ・フォル・ジュルネ」における本学吹奏楽部のイベント

これまでの成果

本学教員や学生の専門的な知識や技術を通じて、普段経験することができない活動に参加できる等、子どもたちや保護者の意見を踏まえ、年々、開講数が増加傾向にあります。

また、各講座を企画運営する学生にとっても充実した取組みとなるよう創意工夫に励む姿が見られ、学生の成長にも大きく貢献しています。

今後の目標・課題

「龍谷ジュニアキャンパス」や「夏休み子ども理科実験・工作教室」、その他の活動によって、小学生が“学ぶこと、体を動かすことの楽しさ、面白さを実感し、出来ることの自信を培い、新たな可能性への挑戦につながること”を目標に事業を実施していきます。

また、地域に根ざした大学として、子どもから高齢者まで幅広い世代のニーズに応えた活動をしていきたいと思っております。